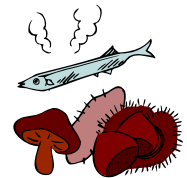


BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.50

http://www.pref.chiba.lg.jp/svozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm



平成21年9月30日(水)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況等

第1回千葉県畜産系バイオマス燃料化研究会

今年度、太平洋セメント(株)と畜産堆肥の燃料化について共同研究を行うこととなり、課内に研究会が設置され、第1回目の会議が7月27日に開催されました。近年、燃料費の高騰などから代替エネルギーの開発が急務となっており、バイオマスも新たなエネルギー資源として注目されています。また、千葉県内では一部地域で堆肥の需給関係が崩れ、過剰施肥による地下水への影響なども問題になっています。そこで、堆肥の新たな活用法である燃料化について研究を進めていきます。

(株)キーテックとの意見交換

木更津市にある同社のバイオマス利活用の取組について、9月14日に訪問・意見交換を行いました。

同社は円柱状の丸太を回転させながら削ることにより薄板を切り出し接着して、合板(LVL)を製造しています。この製造過程で発生する木くず、樹皮などを燃料として蒸気を発生させ、木材の加湿や乾燥の工程で利用しています。



蒸気で木材に湿り気を与えている様子

2. 市町村との連携

我孫子市との意見交換

7月24日に同市のクリーンセンターを訪問し、剪定枝等を資源ごみとして収集・堆肥化、市民への配布を行っているとのことで意見交換を行いました。我孫子市では市内からの収集体制が整っていることが優れた点ですが、堆肥の利用面での課題も一部であるようでした。今後も情報収集に努めたいと思います。



堆肥を市民に配布

南房総市・市原市との意見交換

8月19日に、今年の3月にバイオマスタウン構想を公表した南房総市を訪問しました。同市ではバイオディーゼル燃料(BDF)製造施設を運営しており、稼働状況を調査するとともに、今後のバイオマス利活用について意見交換を行いました。市のBDF製造施設は順調に稼働しており、所有しているゴミ収集車(パッカー車)等に有効利用されています。



パッカー車に使用

また、市原市も7月31日に訪問し、市内の木質バイオマス資源の利活用の状況について、意見交換を行いました。



原料廃食油とBDF

3. 普及啓発活動

バイオマス利活用推進シンポジウムの開催

9月3日(木) ホテルグリーンタワー幕張にてシンポジウムを開催しました。今年度は、千葉県袖ヶ浦市でバイオエタノール混合ガソリンの製造を開始した



会場の様子

日伯エタノール(株)から関戸氏、ニュートン ソノキ氏をお招きして、同社の事業内容や世界最大のバイオエタノール輸出国であるブラジルの状況についてご説明いただきました。また、東京大学大学院の島田准教授からは「有機性廃棄物処理システムの経済・環境評価」について、睦沢町・市原市・南房総市からは各市町の取組みや策定したバイオマスタウン構想について事例発表がありました。



挨拶の様子

200名近い参加者を迎え、盛況となりました。

「エコメッセ2009 in ちば」に出展

9月6日(日) 幕張メッセ国際会議場にてエコメッセが開催されました。当チームも資源循環推進課ブースに出展し、木質プラスチック製品の展示や各種パンフレットの配布を行い、多くの来場者にバイオマスを紹介しました。



BPT ブースの様子

今年度エコメッセは10,100人と過去最大の来場者を迎え、多くの方々にバイオマス利活用についてアピールすることができました。

生涯大学校京葉学園での講義

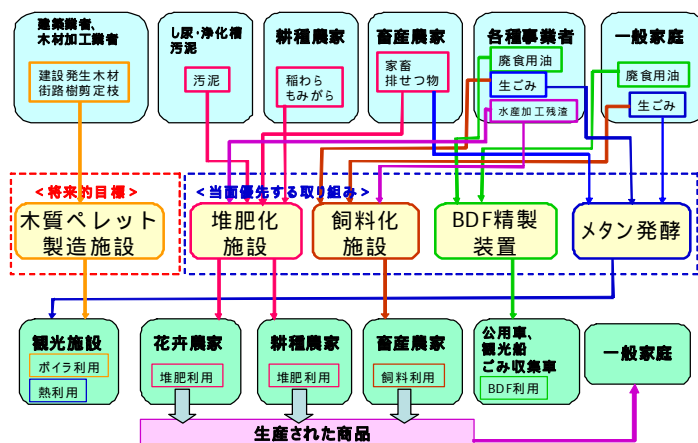
9月13日(日) 県民向けの学習講座である生涯大学校で、バイオマスについての講義を行いました。

～バイオマスタウンより～「館山市バイオマスタウン構想の策定」

本市は、房総半島の南端に位置し、黒潮の影響を受け、冬でも花が咲く温暖な気候と南房総国定公園に指定された変化に富んだ海岸線、緑あふれる野山等、豊かな自然に恵まれ、この環境を活かしたまちづくり、「観光立市」を目指した取組みを進めています。

今回策定した構想の特徴は、温暖な気候と海に囲まれた地理的条件を生かし、既に一部で取組みが行われている家畜排せつ物、し尿や浄化槽汚泥などの堆肥化及び食品残渣の飼料化に加え、観光船や観光施設等にバイオマス燃料を利用するなど、観光立市の施策とバイオマスの組み合わせが、盛り込まれていることです。

今後、利活用を推進するためには、多くの関係者の主体的な取組みが重要なことから、バイオマスに関する情報の提供や勉強会等の開催など、普及・促進を図ることにより、新たな取組みが生まれてくればと、期待しています。



(こちらの記事は、館山市より寄稿いただきました。)